

D - O N L I N E

第20号発行者
古川・山口
奥田・高階・長崎
鯉沼・田口

京都府大学ブロック合同練習会

同志社大学京田辺キャンパスにて、3年ぶりの開催となった本行事に向け、我が部ではホスト校として部員一丸となり準備をしてきました。当日には京都府内9つの大学から指導者12名、拳士約60名が参加。大いに盛り上がり、有意義な時間を過ごしました。



練習の様子

- ・京都外国語大学
- ・京都産業大学
- ・京都女子大学
- ・京都先端科学大学
- ・京都大学
- ・花園大学
- ・佛教大学
- ・立命館大学
- ・龍谷大学

参加校

はじめに、全体基本練習では京都産業大学、立命館大学、同志社大学の主将が主座を行いました。それぞれの大学の特色が表れており、とても新鮮でした。また、修練の間には京都先端科学大学の森川監督による御講話が行われました。その後は武階別術科修練を行い、最後にはレベル別に分かれての運用法の練習を行いました。

コロナ禍の影響により3年ぶりの開催となったこの合同練習会では、最初は拳士同士互いにぎこちない雰囲気ではありましたが、共に修練をしていく中で他の大学の拳士たちと和やかに交流する場面も見られました。他の大学の指導者の方々や拳士から刺激をもらうこともでき、とても有意義な時間となりました。

また、今回の合同練習会は会場が同志社大学であり、ホスト校として練習メニューの作成や会場設営、練習会の進行を行いました。当日は拳士皆が大学の垣根を越えて交流をしながら修練に励んでおり、今回の合同練習会は大成功に終わったといえるのではないのでしょうか。参加して下さった大学の方々、ありがとうございました。

OB・OG・現役合同練習会

4年ぶりに我が部の占有道場である真誠館にOB・OG・現役共に集結。様々な練習メニューにより交流を果たすことができました。

合同練習会では、動的ストレッチ、基本練習、全体術科修練、全体団体演武を行いました。基本練習では100本突きに100本蹴りを行い、ハードな練習を行いました。続いて全体術科修練では、和気あいあいとしながらもメリハリのある雰囲気の中、OB・OGの方々と現役部員が交流をしながら修練をする様子が見られました。最後の全体団体演武では20分という短い時間でしたがOB・OGの方々と交流を深めながらもそれぞれのグループが団体演武を作り上げ、一番の盛り上がりを見せました。

練習会を通して現在の部活動の様子をOB・OGの方々に知っていただき、日頃の修練の成果をお見せする事ができたと思います。

参加して下さったOB・OGの皆様、お越しいただきありがとうございました。

～第58代北田さんインタビュー～ Q.OB・OGとして初めて合同練習会に参加した感想は？

引退して1年も経っていませんが、序盤で息切れしてしまう程でした。現役の子達が普段から一生懸命励んでいるのを感じ取れ、私も負けずに仕事を頑張ろうと思えました。
(第58代・北田愛さん)



団体演武

関関同立合同練習会

関関同立合同練習会を3年ぶりに開催しました。他大学との交流だけでなく、今回から初となる大学対抗の運用法も行われ、大いに盛り上がりました。

本年度は関西大学にて合同練習が開催されました。笑顔があふれ活気のある修練となり、充実した時間を過ごすことができました。特に大学対抗の運用法では激しい攻防が見られ、それを応援する拳士の声や、有効打が出た時の歓声で熱を帯びました。チームメイトの声を間近に受け、存分に力を発揮することができました。

また、全体修練では学校、武階、回生を超えての交流となり、互いに切磋琢磨し合うことができました。同じ技でも大学ごとにアプローチの仕方が異なることがあり、その違いを確認することで様々な発見がありました。時間があっという間に過ぎ、素晴らしい経験となりました。



大学対抗戦



全体写真

追い出し練習会

2022年3月4日(土)、現役部員に加え、10名を越えるOB・OGが集結。59代の4年間を労うとともに、門出を祝いました。

森岡(前主将)の主座で行われた修練では、これまでを振り返りながら全員で汗を流しました。恒例の4回生VS下回生の運用法は熱戦が繰り広げられ、試合後にはお互いを讃えあう姿が印象的でした。2019年に入部し、2回生からコロナ禍での活動を余儀なくされた59代は、その経験をもとに「伝え合うこと」「絆」の大切さをお話しされ、後輩は真剣な顔で聞き入っていました。

また、OB・OG会長から、新OB・OGの59代へ「同期の絆を忘れず、心身ともに逞しくあってほしい」とエールが送られました。

～前主将より一言～

これから社会に出て大変なこともありますが、この部で学んだことを社会人でも発揮し、OBOGとしても道場や行事へ顔を出し、現役の皆さんから元気を貰いたいと思います。
(第59代・森岡勇翔)



59代の方々

夏も練習できるように！という優しさで、記念品に冷蔵庫をサプライズプレゼント！のつもりが、予定日前日に到着させてしまうおっちょこちょいな一面も。寡黙、血気盛ん、世話焼き、クール、気遣い上手、優しい、実直…。なんだかんだバランスの取れた7名がOB・OGの一員となりました。

納会・新年の集い

納会では1年の節目として振り返りを行い、新年の集いでは1年の目標を部全体で共有しました。部員それぞれが自己を見つめなおし、2023年に向けて気持ちを新たにしました。

～部員インタビュー～

Q.1年間を通しての感想は？

努力が結果に結びつき、心身ともに大きく成長することができました。また、同じ目標に向かって頑張る同期や、それを支えてくださった先輩方との関わりを通じて、より信頼が深まりました。振り返ると大変濃密な時間を送ることができました。

Q.来シーズンに向けての抱負は？

全日本学生大会で入賞することが出来ましたが、今回の結果に満足せず、より高い目標に向かって地道に努力していきたいです。また後輩ができるので尊敬される先輩になれるよう精進したいです。
(鯉沼穰也・文化情報学部文化情報学科)



新年の集い



全日本学生大会

2022年11月6日(日)に全日本学生大会が日本武道館にて開催されました。7組が入賞、うち3組が最優秀賞を獲得しました。

大会前日には関東OB・OG会に3、4回生が参加させていただき、OB・OGの方々から激励をいただきました。改めて全国各地のOB・OGの方々に支えていただいていることを実感することが出来ました。

本大会では、各部門の出場組数が限られているため、部内選考で選出された部員のみ出場いたしました。我が部から出場した15組のうち、12組が本選への出場を果たし、全国トップレベルの拳士達と決戦を繰り上げました。

大会後には他大学の拳士と交流する時間が設けられ、互いに健闘を讃えあい、互いに健闘を讃えあいました。部員の中にはかつての相方やライバルと再会した者もあり、会場は和やかな雰囲気になりました。

全日本学生大会にて、全国トップレベルの技術を間近で見ることができました。この刺激をバネに修練に励んでまいりますので、今後ともご声援の程宜しくお願いたします。

- 入賞者**
- 単独演武白緑帯の部
 - ・鯉沼(文情1)…4位
 - 単独演武茶帯の部
 - ・古川(理工3)…1位
 - 単独演武有段の部
 - ・玉井(スポ健2)…5位
 - 自由組演武男女白緑帯の部
 - ・田崎(スポ健1)三輪(理工1)…1位
 - 自由組演武男子白緑帯の部
 - ・武田(法1)森弘(文情1)…3位
 - 自由組演武女子三段以上の部
 - ・喜多(スポ健2)高橋(スポ健3)…1位
 - 女子団体演武の部
 - ・高橋・室永・喜多・長崎・蓑手・山本…3位
 - 立合評価法女子軽量級の部
 - ・喜多(スポ健2)…3位



集合写真 演武

部員インタビュー

Q. 厳しい練習の糧となったものはなんですか？



仲間が頑張る姿です。それを見て自分も誰かを元気づけられる存在になりたいと思います。頑張ることが出来ました。また、指導者の方々や、家族、友人の期待に応えたいという思いも私の原動力になっていました。

Q. 今大会の成績についてどのように感じていますか？



演武は練習通り実力を発揮することができ、日本1になれて満足しています。しかし、立合評価法では大きな会場に萎縮してしまい、本来の実力があらずとも悔しかったです。

Q. 来年の目標はなんですか？



来年は組演武、団体演武、立合評価法の3種目で優勝を目指したいです。

(喜多あみる・スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科)

関西学生新人大会

2022年12月17日(土)にペイコム総合体育館にて関西学生新人大会が開催されました。「総合優勝10連覇」に向けて、部員一同張り詰めた緊張の中シーズンを過ごしましたが、目標としていた「総合優勝」を見事獲得することが出来ました。

昨年度の大会では、感染対策による制限がありました。今年は大規模に緩和され有聲の試合や有観客での大会を開催することができ、ほぼ例年に近い形での実施となりました。そんな中迎えた本大会では、出場した全部員が予選を突破する好調な滑り出しを見せました。本戦でもそれぞれの部員が奮闘し、結果として単独演武で3名が、組演武では8組、団体演武では1組が入賞しました。それだけでなく、運用法の部では女子の部で1位、男子軽量級の部でも2位を獲得する等、幅広い部門においての活躍が見られました。

特筆すべき点として、喜多(スポ健2)が躍進し、女子二段以上の部、運用法の両部門で1位を獲得する大活躍を見せました。その結果、優秀拳士としてロータリー賞を授与されました。



演武 緑帯集合写真 集合写真

この総合優勝10連覇は歴代の先輩方が歴史を紡いできてくださったからこそ成し得た結果だと思えます。今後とも部の発展に努めてまいりますので、ご支援の程宜しくお願いたします。

結果が発表されるまで総合優勝を取れるか不安でした。表彰の時も、拍手をしながら頭の中では得点の計算をしていたぐらいです。それほど私にとって、10連覇のなかった総合優勝は勝ち取らなくてはならないものでした。

総合優勝に選ばれた時はとても嬉しかったですが、それと同時に指導陣の方々のサポートや、部員みんなの頑張りや実を結んだと感じホッとしました。

(高橋希実・スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科)

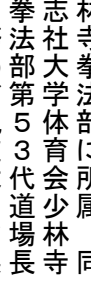
- 入賞者**
- 単独演武段外の部
 - ・古川(理工3)…1位
 - ・鯉沼(文情1)…2位
 - 単独有段の部
 - ・玉井(スポ健2)…2位
 - 男子白緑帯の部
 - ・三輪(理工1)田崎(スポ健1)…1位
 - ・上田(文情1)西川(文情1)…2位
 - ・森弘(文情1)武田(法1)…3位
 - 女子白緑帯の部
 - ・浅田(経済1)伊藤(社会1)…1位
 - 男子茶帯の部
 - ・水本(スポ健2)藤井(スポ健2)…3位
 - 男子初段の部
 - ・奥田(スポ健2)田口(理工1)…1位
 - 女子二段以上の部
 - ・高橋(スポ健3)喜多(スポ健2)…1位
 - ・室永(生命3)長崎(スポ健2)…3位
 - 団体演武の部
 - ・同志社大学A (高橋・室永・喜多・長崎・蓑手・山本)…2位
 - 運用法男子軽量の部
 - ・玉井(スポ健2)…2位
 - 運用法女子の部
 - ・喜多(スポ健2)…1位
 - ロータリー賞
 - ・喜多(スポ健2)

総合 同志社大学 1位

全国大会 in Osaka

春シーズン中に開催された京都府大会で勝ち抜いた、8名の現役部員が2022年11月19日(土)20日(日)に開催された全国大会に出場しました。全国大会の開催は2019年以来、3年ぶりの開催となりました。大会会場が大阪であったこともあり多くのOB・OGの皆様に見守られながら大会に臨みました。

Q. 大学生時代と卒業後で少林寺拳法をするうえで変わったことは何ですか？



圧倒的に違うのは考え方で攻撃する、技をとるということに重点を置いて稽古してました。卒業後は指導者となり、恩師と全国大会に向けて歩んだ日々の中で、より理にかなっていかないと客観視するようになりました。社会人になってからは本気で、理に合う、嘘のない演武をしています。

Q. 大学生時代に心がけていたことは何ですか？



「常に謙虚に」という心構えを持つことです。最初は謙虚さに欠けていたのが、幹部で道場長という役職を拝命し、技術底上げのために指導者や部員と協力すること、裏側では部のことを考えている人や支えてくれている人がいることに気が付きました。人は人に生かされているはず、誰かに支えられていると痛感し、少林寺拳法に出会えてよかったと1人でも多くの仲間を感じてもらえるように日々奔走していました。

- ~出場者~
- 大学生女子の部
 - ・高橋(スポ健3)喜多(スポ健2)…**優良賞**
 - ・室永(生命3)長崎(スポ健2)…**敢闘賞**
 - 一般女子三段以上の部
 - ・森井コーチ(第51代)…**優秀賞**
 - 女子護身技法の部
 - ・井上さん(第53代)…**優秀賞**
 - ・田中さん(第54代)
 - ・山本さん(第58代)玉井(スポ健2)
 - 親子の部
 - ・尾野さん(第42代)
 - 男子運用法の部
 - ・玉井(スポ健2)・柳田(生命4)・上辻(心理4)
 - ・岸本(商3)
 - 女子運用法の部
 - ・高橋(スポ健3)・室永(生命3)・長崎(スポ健2)・喜多(スポ健2)…**優秀選手選出**
- Q. 今後の目標を教えてください
- 世界大会を目指します。世界大会という舞台で嘘のない、武道としてふさわしい演武ができるよう鍛錬し、子供たちに挑戦の姿を見せ、挑戦することへの勇気を与えていきたいです。
- (第53代・井上陸さん)